

# つやまの市議会だより

—あなたと市議会を結ぶ—

75号

平成27年5月10日発刊



## 3月定例会のトピックス

今任期最後の定例会 …………… 2~3

## こんなことが決まりました

議案などに対する審議結果は …………… 4~7

## 市政のあり方を問う！

23人の議員が一般質問 …………… 8~15

## 議会からのお知らせ

災害時相互応援協定締結式出席 …………… 16

発行／津山市議会  
編集／広報調査特別委員会  
津山市山北520  
TEL 0868-32-2140  
FAX 0868-32-2160

つやましぎかい

検索

3月定例会の  
トピックス

## 今任期最後の定例会

# 新年度予算や国の経済対策補正予算を決定

平成27年3月定例会は、議員任期最後の定例会でした。

平成26年12月、国で決定した「地方創生」の取り組みなどを受けて、津山市の活性化に資する施策や事業などを問いただす質問が数多く出されました。

また、地方創生に関連する国の補正予算の成立を受け、津山市でも地域活性化事業などを盛り込んだ補正予算や、宮地市長の施政方針とともに提案された平成27年度当初予算議案の審議など、多くの議案で議論が行われました。

さらに、特別委員会の総まとめとなる報告や、議員提案による意見書議案の提出など、多岐にわたった議会となりました。



産業委員会



総務文教委員会



建設水道委員会



厚生委員会

## 広報調査特別委員会・議会活性化調査特別委員会の中間報告

議会広報に関する調査や、議会の活性化に関する調査を目的に設置されていた2つの特別委員会について、両委員長から総括的な視点で中間報告が行われました。両委員会ともに、委員会設置の目的が一定程度果たすことができたとの報告でした。

### 広報調査特別委員会 報告内容

- インターネットを活用した議会広報の研究の推進
  - ・本会議のインターネット中継（ライブ・録画）
  - ・政務活動費の収支報告書や議案等に対する各議員の賛否一覧を議会ホームページで公開
- つやま市議会だよりの大幅リニューアルを実施した。
- 議会報告会開催による市民と議会との新たなアクセスポイントの構築を行った。



### 議会活性化調査特別委員会 報告内容

- 議員定数・議員報酬は市の財政状況を勘案し、今後の議会活動や議員活動のあり方を見定めながら検討を行う。定数については「28名の現状維持」が多数を占め、報酬は現状どおりとすることで意見一致となった。
- 一問一答方式の導入、反問権の付与、議案等に対する賛否公開の実施など、新たな議会運営の取り組みをスタートした。
- 議会報告会は、これまでに5回開催し、延べ18会場で、246人が参加した。



- 議会基本条例については、議会機能の充実や強化を図り、取り組みの実績を積み上げた段階で、条例制定の必要性の機運が高まれば改めて検討することとした。
- 政治倫理の確立を図ることを目的に、「津山市議会議員の倫理に関する条例」を制定した。

## 宮地市長の平成27年度の施政方針が示されました

3月定例会では、宮地市長の政治姿勢や市政運営についての基本的な考え方、主要施策の一端を明らかにする施政方針が示されました。

### 施政方針の概要

- 人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを進めることは容易ではなく、かつて経験したことのない様々な困難が待ち構えているが、この逆境を跳ね返すため、勇気と決断力を持って、市民の皆様とともに立ち向かいたい。
- 平成27年は新しい時代を作り出すために挑戦する「地方創生元年」として邁進したい。
- 4つの重要施策：「第5次総合計画の策定」「行財政改革」「成長戦略」「地方創生」

こんなことが  
決まりました

# 予算・条例等

3月定例会では、59件の議案等を審議しました。議論した議案等のうち、主なものを紹介します。

## 人口減少社会における公共施設の維持管理の方向性は

公共施設の今後の維持管理のあり方を検討するにあたり、本年1月に公共施設白書の中間報告が公表されましたが、適切な維持管理に向けて、これまで以上にコーディネート能力を高め、ていくよう、意見を付しました。

(予算額 946万円)

### 〈総務文教委員会での質疑〉

**問** 人口減少社会の到来を見ずえた公共施設の集約化や複合化に対する当局の考えは。

**答** 公共施設をこれまでどおり維持管理していけば、今後40年間で1,800億円という莫大な経費が必要となる。今後、維持管理に関して市民の皆さんのご意見をいただきながら、施設整理の方向性を示していきたい。



公表された公共施設白書 (中間報告)

## 「防犯カメラ設置に補助」 画像等の管理は

市民の安全・安心な暮らしを守ることを目的に、平成27年度から町内会を対象とした「防犯カメラ設置補助制度」が始まる

ことになりました。

(予算額 900万円)



津山市弓道場に設置されている防犯カメラ

**問** 防犯カメラで撮影した画像などの管理方法はどのようにするのか。

**答** 岡山県が定める「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」に沿って設置した町内会において、管理責任者を指定し、適正な保存管理に努めるよう、関係町内会に周知を図りたい。

## 「城下地区まちづくり プラン策定に補助金」 市の参画は

津山商工会議所が中心となり、津山城周辺の現状分析などを行い、中心市街地の活性化に向けた計

画「城下地区まちづくりプラン」の策定に対する補助金を決定しました。

(予算額 290万円)



津山城周辺の町並み

### 〈産業委員会での質疑〉

**問** プランの策定に向けて、津山市の参画はあるのか。またプラン策定後の市の対応は。

**答** 市はプラン策定に向けてオブザーバーとして参加している。城下地区まちづくりプランが策定された段階で、津山市の関係部署が連携して対応できるように情報の共有に努めている。

# 3月定例会で決まった主な予算

(平成27年度当初予算・国の地方創生に関する経済対策事業など)



地域おこし協力隊を設置  
845万円



乳幼児B型肝炎ワクチン接種助成事業  
144万円



道の駅久米の里 施設改修  
6,550万円



つやま産業支援センターの運営  
4,779万円



小中学校の施設整備事業  
9億8,829万円



道路交通安全施設の整備  
3億565万円



移住・定住を促進する！JUトータルサポート  
2,264万円



プレミアム付き地域商品券事業  
2億869万円



合宿の誘致(ただし市外の高校生以下のみ)  
200万円



美作材の輸出の促進に向けて  
450万円



保育士の養成に向けて  
465万円



市を全国にPRするための情報発信  
1,000万円

## 市長などの給料、退職手当の減額幅を緩和した条例を可決

市長から、昨年に引き続き平成27年4月1日から1年間、市長を初めとする特別職の給料と退職手当を減額する条例案が提案されました。このたびの条例改正ではこれまでの減額幅を緩和した内容であり、議会で議論となりましたが、可決されました。

### 市長等の給料、退職手当の減額率について

|                    | 種類   | 27年3月まで |   | 27年4月から |  |
|--------------------|------|---------|---|---------|--|
|                    |      |         |   |         |  |
| 市長                 | 給料   | 30%カット  | ⇒ | 15%カット  |  |
|                    | 退職手当 | 50%カット  |   | 25%カット  |  |
| 副市長<br>教育長<br>特別理事 | 給料   | 15%カット  |   | 10%カット  |  |
|                    | 退職手当 | 15%カット  |   | 10%カット  |  |

※平成27年4月以降の市長の月額給料は、83万3,000円となります。

何が議論された？

## 討論

議案に対する各常任委員会での審査結果や、市長などの給料退職手当の減額条例案の提案を受けて、5人の議員が賛否を述べました。

### 国の経済対策

ばらまきだけで済ませないように

市民と歩む会 黒見節子

プレミアム付き地域商品券や図書クーポン券などではなく、景気対策として他の方法もあったのでは。これまでの反省を生かしながら、事業の細部にまで詰めが必要。事業効果がゼロではないことから、やむなく賛成とするが、ばらまきだけで済ませないよう、しっかりとした事業報告を望みたい。

### 政治権力の教育支配に

心配と反対の声多し

日本共産党津山市議団 久永良一

教育委員会の独立性をなくし、教育を国と首長の支配下におき、侵略戦争美化の「愛国心」教育

と異常な競争主義を教育にもちこむ教育委員会制度改悪に反対。27年度予算で35人学級を継続することに賛成、さらに30人学級実現へ向け、努力することを要望する。



### 市長給与条例等は順守し

第三者機関で検討すべき

安東伸昭

本件に対しては、市長の政策的判断ではあるものの、条例の改正を行い、減額すべきではないとの考えから昨年も反対した。制定している条例はきちんと守るべきであり、改正するのであれば第三者機関である報酬等審議会を設置して検討すべきと考え、該当議案に反対する。

### 給与等の減額などせず

中央とのつながりの強化を

津山誠心会議 中島完一

昨年も市長の給与等の減額条

例に反対していたが、津山市の財政は第三セクターの整理が始まり、借金を次世代に先送りした責任は給料の削減では到底追いつくものではない。市民目線を強調する市長ならば減額などせず、中央等とのネットワークやトップセールスを通じた市長の職務を全うしていただきたい。よって条例案に反対。

### アルネビル管理費やクリーン

センター施設運営に賛成

日本共産党津山市議団 末永弘之

アルネビルを中心とする再開発事業やクリーンセンター建設事業などの予算は、事業のあり方などを踏まえ、これまで一貫して反対してきたが、裁判の終結や建設の進捗状況、また、施設の建設費ではなく運営費などに予算が変わってきたことなどを踏まえ、両事業に対する予算に賛成する。

しかし、苦田ダムに関連する予算や、土地開発公社の清算に関する予算は依然として納得できない点が多く、反対。



# 市政のあり方を問う!

## 産業振興で 地方創生を

公明党  
津山市議員



原 行則 川端恵美子 岡安謙典

### 地方創生

**問** 「地方創生」の総合戦略をたてる人材の確保について、また「地方創生人材支援制度」についての考えは。

**答** 総合戦略策定と推進にあたっては、数値目標の設定と実施事業の効果検証を行うため市民代表のほか、産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディア、県等の

行政機関で構成する推進会議を設置し、PDCAサイクルの確立を目指す。また、国家公務員や大学研究者を市町村長の補佐役として派遣する「地方創生人材支援制度」は原則人口5万人以下が対象。国が新たに設けた「地方創生コンシェルジュ制度」いわゆる国の関係省庁における案内人制度の活用を図る。

### 経済対策

**問** 今回の第7次補正予算に2億円計上されているプレミアム商品券発行について、その内容を聞きたい。

**答** 国の「地域消費喚起交付金」を活用し、額面千円の商品券が12枚綴りになったものを1万円で2割のプレミアムを上乗せした形で販売したい。7〜8億円分を夏頃までに発行予定である。津山商工会議所と作州津山商工会エリアに分けて実施し、消費喚起を促していきたい。



## 公会堂建設に 公平・公正な 補助を



新風会  
岡田康弘

### 地域

**問** 公会堂新築の補助額に360万円から1,500万円と格差が見受けられる。この格差は住民の所帯数が面積か基準はあるのか。全地域の公会堂建設に公平・公正な補助が出せるよう市長に判断してもらいたい。

**答** 単位町内会が公会堂整備をされる場合は所帯数により最大400万円を補助している。一方、小学校区程度の範囲を対象とした施設整備・市の対応が必要と判断した場合は宝くじ助成事業を紹介している。助成の上限は1,500万円である。綾部地区については一般

廃棄物処理場建設の話があり、当時から集会施設整備の約束もあった。処理場は中止となったが、道義的責任、迷惑をおかけしたという中で宝くじ助成を紹介・進達した。





## 移住者獲得に 向けた具体的 な施策は



津山新星会議  
小椋 多

### 移住

**問** 施政方針では、地域産材使用の住宅建築について、移住者への助成を拡大し、地元産材の利用促進と定住促進を図るとしているが、移住者に対する助成拡大は何をするのか。

**答** 国の地方創生交付金を活用して実施するもので、市外から津山市内に移住され新築する方に50万円、リフォームをする方に15万円の上乗せ助成を行うもので既存の助成事業と併せ、新築住宅では最大100万円、リフォームでは最大30万円の助成となる。



樹齢100年のひのきの伐採 (阿波地区)

**問** 移住者枠の上限はどのように設定しているのか。また岡山県の補助と併せると最大いくらになるのか。

**答** 上限は新築・リフォームを併せて430万円、県が来年度も今年度と同額の助成となれば、併せて120万円の助成額となる。

## 人口減少対策 市民の 総力を



日本共産党  
津山市議員  
久永良一

### 雇用

**問** 市民、産業界、教育機関、雇用関係団体、行政が共同して立ち向かうことが重要。結婚、子育て、移住者への支援、若い人の雇用改善を図る必要がある。

**答** 各分野の代表者で構成する組織をつくる。

### 防災

**問** 過酷事故が起きれば、津山に放射能が降り、市民は強制移住となる、島根原発再稼働ノーを明確にすべきだ。

**答** 島根原発再稼働は「賛成できない」。

**問** 城東町並み保存地区へ観光客が増えている



城東町並み保存地区

### 雇用

るが、「どこが重伝建ですか」、「土産店がない」など、期待外れの声が多い。専任をおいて、魅力づくりを急ぐ必要がある。

**答** 現在、国に構想提案中の実践型地域雇用創造事業の中で、食事処などの出店を促進する実践支援員の配置について検討していく。

## 人口減少社会 を見据えた 政策の実現に 向けて



緑風会  
竹内靖人

### 防災

**問** 激甚災害への対応能力が衰えている。建設業者の育成が必要では。

**答** 災害発生時の初期対応に建設業者の役割は大きい。防災工事等を含めた公共工事を毎年計画的に実施していくことが市内建設業者の育成につながるものと思う。

### スポーツ

**問** 少年スポーツをもっと少し誘導してもいいのでは。

**答** 子どもたちに「生きる力を育む」という視点で人づくりや体力づくりにも取り組んでいる。学校という環境の中で、自己実現を目指すとともに、知・徳・体のバランスがとれ、感性豊かな大人へと成長して欲しい。スポーツと勉学の両立や外遊びなど地域の方々の関わりは重要と考



スポーツを通じて  
人づくりを

今こそ、「ひと」を大事にする  
津山市に



市民と歩む会  
黒見節子

学校教育

**問** 加茂小での旧阿波小の子どもたちの生活は。

**答** 次第に慣れ、新しい友だちと元気に活動していると報告を受けている。

るための調査」活用の可能性を探る。

移住

**問** 事務・情報・流通の企業誘致、I・J・Uターンの情報、雇用後の追跡調査の状況は。

**答** 引き続き企業誘致を展開する。移住サポートセンターを設置し、空き家・雇用の情報を提供する。雇用後の追跡調査も検討する。

文化

**問** 伝統的技術の保存、映像化の可能性は。

**答** 伝統的技術の保護・保存を図っていく。文化庁の「地域の文化遺産を総合的に把握す



平成26年11月に開催した「津山の暮らし体験ツアー」での阿波地区の見学の様子

施政方針の「産業経済部の再編」の再編とは



津山誠心会議  
野村昌平

行革

**問** 施政方針に「産業経済部の再編」とあるが、どこをどう変えるのか。狙いや実効性は。

**答** 成長戦略の「ものづくり」「農林業」分野の取り組みを強化するため、新産業創出課を発展的に解消し、「みらい産業課」を創設し、企業サポート係と地域資源活用係を配置する。

企業サポート係には市内企業の活性化及び雇用創出を効果的にサポートする窓口として「つやま産業支援センター」を4月から開設する。

地域資源活用係では、農商工連携と6次産業

化の取り組みにより農林業の川下分野への支援を推進する。定住推進室は、「仕事・移住支援室」と改め、I・J・Uターンの推進や就労支援の取り組みを強化する。



つやま産業支援センター開所式

町並み保存と産業振興について



緑風会  
西野修平

援センターに相談いただき、関係機関の支援策を活用した支援を行いたい。

農地

**問** 農地中間管理機構ができたが、津山市とJAが独自の手法を用いなければ農地を有効活用し、農業の発展につなげることは難しいのでは。

**答** 農地中間管理事業は昨年7月から受け手の募集を開始し、事業着手、集落座談会などで制度の周知を図っている。運用面に関し必ずしも現状に即したものとないこととなり、普及に苦慮している。



津山洋学資料館

産業

**問** 洋学資料館東隣に名門の会社の工場がある。関連会社は新しい場所で開催しているが、産業振興面での考えは。

**答** 工場では農機具部品を作っておられ高い技術力を持つ優秀な会社と聞いている。このような会社が移転などの予定があれば産業支

**障害者福祉の  
基本的な  
考え方は**



無所属  
**神田栄作**

**福祉**

**問** 障害福祉計画策定における基本的な考え方は。

**答** 障害のある方が日常生活または社会生活を営むために必要な支援を受けられることで社会参加の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することができるとを目的として、障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援の提供体制について策定するもので、3月中に障害福祉計画として公表する予定。今後とも障害のある方が生き活きと生きがいを持って暮らせるよう障害者施策の推進に取り組む。



**給食**

**問** 学校給食に有機農法による作物を使用し  
てはどうか。

**答** 安全安心などの評価がある一方で、市内における生産量や流通量など課題が多く、大量の食材を必要とする学校給食で使用することは困難である。

**暴力団排除条  
例施行後  
3年半**

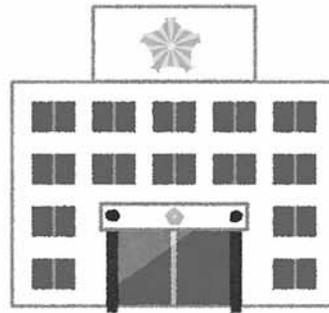


市民と歩む会  
**河本英敏**

**くらし**

**問** 暴力団排除条例施行後3年半、その趣旨に沿い、どのような成果があったか。

**答** 津山警察署、県暴力追放運動センターに聞くと、暴力団が関係する事件は、ともに減少している。しかし、暴力団は法令の適用を逃れるため、暴力団を示す名刺を使用しないなど隠ぺいし、企業活動を装い多様な資金活動を行っており、市民社会に大きな脅威となっている。今後も、警察や関係機関と連携し、取り組む。



**倫理**

**問** 平成26年6月18日国政タイムズ社から津山市議会の中に広域暴力団の企業舎弟がいる情報を得たとするFA Xを読まれたか。

**答** 確かに承知しているが、内容が事実かどうか把握しかねるため、感想はない。

**育児不安の  
解消の  
具体策は**



津山誠心会議  
**中島完一**

**子育て**

**問** 少子化の要因の一つとして離婚率の上昇があげられ、産後女性の心理ケアの問題（産後うつ）が起こっているが、津山市として、どういう認識を持っていくのか。育児不安を解消するための具体的な支援策は。

**答** 津山市でも少子高齢化、核家族化などが進んでおり、産後うつへの対策も含め、安心して子どもを産み育てる環境整備を進めることが急務と認識している。家事・育児負担が大きい家庭や、育児不安が強い方には、妊産婦ケア事業を新たに開始する予定。この事業



は、産前・産後の育児支援を強化するもので、家事支援のためのヘルパー派遣や、強い育児不安や産後うつ状態の改善のための看護師派遣、母子のショートステイなどを実施するもの。

### 津山圏域自治体による

### 地方創生の取り組み



無所属  
安東伸昭

#### 地方創生

**問** 津山圏域地方創生活協会の方針は。

**答** 2月24日に発足した津山圏域地域創生活協

議会では、津山圏域版総合戦略を策定し、人口減少への対応と産業の活性化のため、圏域人口ビジョンを取りまとめる。そして、課題を共有する中で、圏域自治体が連携して取り組むべき効果的な施策・事業のあり方を検討・実施する。

#### 鳥獣対策

**問** 鳥獣被害対策は。

**答** 広域連携による鳥獣被害対策は、情報の集約化による駆除の効率化や迅速化などの利



岡山県立津山中学校

#### 教育

**問** 津山中学校の受験の状況は。

**答** 津山中学校の受験者数は300名で、内津山市内から、180名が受験し、合格者数は42名である。

点があり、必要性を認識している。津山圏域での連携が可能か検討する。

### グラスハウス 廃止した場合 どうなる



津山新星会議  
近藤吉一郎



グラスハウス

#### スポーツ

**問** グラスハウスは平成27年度末で指定管理期間が終了し廃止した場合、県にいくら返還するのか。

**答** 県との協議の中で10年の協定期間に達せず廃止した場合、県がリニューアルにかけた修繕費4億円の半分の2億円を返還する。廃

止し、取り壊す場合は、取り壊し費用約4億円が見込まれ、加えて、市の試算であるが、残存物価格約7億4千万円を県に支払うことになる。

**問** 津山スポーツセンターサッカー場の条例上の名称変更について見解は。

**答** 4月から人工芝になり、サッカーはもとよりラグビーも行えるようになり、ネーミングも「サッカー・ラグビー場」と表記されることとなった。岡山県ラグビーフットボール協会からも名称変更の要望があり、名称変更について調整していく。

### 観光を産業化するには、観光客数200万人必要！



緑風会  
津本憲一

#### 観光

**問** 観光を産業化するには津山の場合、城下町の活用。それには城下整備が必要。商工会議所との連携は。

**答** 会議所との連携は不可欠であり、今後、連携を深めたい。

#### 整備

**問** 本市には景観条例がないが、制定の進捗状況は。

**答** 景観形成の実現化方策や行為の制限などの方針を準備中。今年度、取りまとめた。

**問** 城西地区の重伝建に向けての展開は。

**答** 建物の現況調査を実施し、市の保存地区

に指定した上で、国の重伝建選定に向けて、まちづくり協議会などと連携して取り組む。



作州民芸館付近

#### まちづくり

**問** 市民が「津山の街並み保存と活用を考える会」を組織。この会に市はどのような役割ができるのか。

**答** 武家地の保存・活用は共通の目的。連携して取り組みたい。

## 第5次総合計画に住民意見の反映は



緑風会  
森西順次

### 総合計画

**問** 住民の意見や提案をどのように第5次総合計画に反映していくのか。



津山東公民館で開催された地区別懇談会の様子

**答** 地区別懇談会で50年先の人口推計を示した。あえて厳しい推計の結果を説明することでゼロベースから市の将来を考える機会にした。また、より多くの市民の意見を取り入れ

るため、市民へのグループインタビューなどを行う中で、どの団体にも所属していない市民の意見を聞く機会を設けた。

### 文化

**問** 津山城天守閣再建について、市長の夢であることに変わりはないか。

**答** 可能であればすぐにでも取りかかりたいが、その前に石垣整備が必要。第2期史跡津山城跡整備保存計画で、石垣の整備を終えることは困難。しかし市制100周年となる41年には天守閣再建への展望が開けてくるよう努力していきたい。

## 人口減少の歯止め対策、健康福祉対策



市民と歩む会  
村田隆男

### 移住

**問** 若者の移住定住策で、子ども医療費の無料化は他市町村との人口の取り合いで一番に對等な条件整備では。

**答** 第5次総合計画や津山版総合戦略の中で子ども医療費助成制度を含め市全体で研究する。

**問** 県外企業誘致と地元企業での雇用の確保が人口増加へ寄与するが。

**答** 地元企業への就職意識の醸成が必要。就活学生登録制度等を活用し、若者定住推進を図りたい。

### 介護

**問** 介護保険を利用せず在宅介護の家族に

対し、ヘルパー代の支給は。

**答** 在宅で1年以上の介護者に家族介護慰労金を非課税世帯に15万円、また、課税世帯にも本年度から年額5万円を支給する。

### 高齢者

**問** 私の自称「転々ホーム」は高齢者一人暮らしで気の合う人同士、趣味を活かした同士の共同生活をモデル的にしては。

**答** 地域で生き生きと暮らすことは大変有意義だと思う。



## 次世代自動車の普及・促進を



津山新星会議  
竹内邦彦



津山市に導入されている電気自動車

### 企業誘致

**問** 燃料電池自動車にかかわる関連企業の誘致を運動されてはどうか。また、水素充填施設を市内に設置しては。

**答** 市が取り組んでいる電気自動車の普及促進と併せて、以前より水素エネルギーに興味を示している市内事業者とも連携しながら、普及動向を注視したい。

### 教育

**問** 道徳の教科化に向けた当市の取り組み状況はどうか。

**答** 道徳教育の中心的役割を担う「推進教師」を対象として、研修会を開催している。道徳教育の指導方法の工夫などについて実践的理解を深めている。「地域連携担当教員」を窓口には保護者や地域などとの連携を図り、社会奉仕や自然体験活動、地域と一体となったあいさつ運動などを通して充実を図る。

日本原演習場  
と駐屯地の  
考えは



新風会  
松本義隆

演習場

**問** 日本原演習場と陸上自衛隊日本原駐屯地についての考えは。地元周辺の皆さんの迷惑についての考えは。駐屯地の隊員数削減については。

**答** 演習場と駐屯地は国防や災害派遣など必要なもの。演習場では民家から非常に近い場所ので火砲訓練などが行われるため、これまで地域の方々が騒音や振動による障害を受けてこられたと認識している。勝北地域と演習場とは長い間、共存共栄してきたという歴史事実があり、地域の皆さんの思いを最大限尊重し、演習場対策に取り

組みたい。隊員削減は、防災面や地域活性化、経済面など多面にわたる近隣自治体、県内全域にも影響がある。新たな防衛大綱が出されたのを機に周辺首長、地元県議とともに、防衛省、議員会館を訪ね、駐屯地の現体制の確保を要請し、今後も部隊や隊員を削減しないよう要望していく。



日本原駐屯地での行事の様子

移住者、定住者受け入れ体制の確立を



津山誠心会議  
田口慎一郎

移住

**問** 移住トータルサポートの基礎固めは。

**答** 新年度、移住サポートを雇用、定住ポータルサイトを開設し、移住者の受け入れ体制を整備する。

行革

**問** 職員への意識改革の考えは。

**答** 新年度より、目標管理制度を導入し、行政マネジメントの充実強化を図る。組織目標を明確化し、職員が共有、個人の成果目標を設定、さらに結果を評価し、次に活かすことで、職員自らの意識向上を図る。

給食

**問** 給食による食育推進の成果は。

**答** 昨年末から、キャベツ・ダイコン・ネギの3品目は、地元生産者とJAつやまとの契約栽培によるものを優先して調達。新年度からはジャガイモ・タマネギ・ショウガの3品目を加えるようにJAと調整中である。



移住コーディネーター機能の充実を

津山市に暴力団はいりません!



日本共産党  
津山市議団  
末永弘之

政治倫理

**問** 田邑のごみ処理場の先行取得、過去のあの議長追い落としや、東部衛生組合の焼却残渣を廃棄する契約をした「キンクワリンセンター(株)」の例など「暴力団はいりません物語」であり、この苦い経験から、暴力団排除条例の中、津山市政や市議会には暴力団はいらないと思うが、「ならぬものならぬ」の市長の政治姿勢として、どう思うか。

**答** 田邑土地買収などの時、私も職員であり、暴力団の噂は耳にしている。公共事業に暴力団の関与があつてはならないと考えている。地方自治体が暴力団を利用することは、あつてはならないことである。暴力団排除について多くの市民が望んでいることであり、「ならぬものならぬ」であつて、私はこの信念で市政運営にあたる決意である。



津山市暴力団排除条例のポスター

# 議会からのお知らせ

## 津山市・飯田市災害時相互応援協定締結式に市議会を代表して議長が立会人として出席

2月17日、津山市と市政提携都市縁組を締結している長野県飯田市と、災害時相互応援協定を締結するため、宮地市長とともに、川端議長が飯田市を訪れました。今回の締結は、昨年8月に飯田市議会議長が津山市を訪れたことを契機として、今後のさらなる協力体制を協議している中から、今回の災害時協定の運びとなりました。協定の概要は以下のとおりです。



川端議長 宮地市長 牧野市長 林議長  
新たな交流のきっかけになればと願っています。

### 協定の概要

- ・食料、飲料水及び生活必需物資等の提供
- ・被災者の救出、医療等に必要な資機材の提供
- ・救援及び救助活動に必要な車両等の提供
- ・救援、医療、応急復旧等に必要な職員の派遣
- ・被災した児童等の教育機関への受け入れ及びあっせん
- ・被災者の一時受け入れ施設の提供及びあっせん
- ・そのほか、特に被災市から要請のあった事項



協定締結式後、飯田市の危機管理センターの視察を行いました。(写真は地下貯水タンク施設)

## 議会を傍聴しませんか



本会議は公開されており、どなたでもご覧いただけます。  
本会議の傍聴を希望される方は、議会事務局へお問い合わせください。  
次の本会議は6月中旬に開催予定です。

津山市議会事務局 (0868) 32-2140



### 表紙写真のご紹介



#### 久米保育所

通園している子どもたちは152人。  
撮影当時は4歳、5歳クラス61人がお遊戯室いっばいに並んでハイチーズ。とても元気な顔を見せてくれました。

#### 院庄幼稚園

通園している子どもたちは17人。  
撮影は大好きな先生やお友達と一緒に遊戯室に集合してパチリと一枚。みんな、いい顔しているよ！

#### 二宮幼稚園

通園している子どもたちは14人。  
撮影はお遊戯室にみんな一緒に集まってハイチーズ。みんな仲良く遊んでね。

### 編集後記

広報調査特別委員会 (委員長) 末永弘之 (副委員長) 安東伸昭  
(委員) 秋久憲司 岡田康弘 岡安謙典 黒見節子 竹内靖人 吉田耕造

今任期最後の「議会だより」の編集は、市議会議員選挙を経て新しい議員が誕生して、正副議長などを選出する直前に発刊となります。旧議員の最後の編集です。ご覧ください。  
(末)

津山市第5次総合計画、地方版総合戦略、公共施設白書、教育大綱の策定や津山市成長戦略の実行等27年度予算が決まった3月議会です。国民に誇りの持てる「津山市」となるための設計図を策定する重要な27年度となります。(伸)

つやま市議会だよりは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑紙)にご協力ください。